



図書館だより

脇校図書館
2019.5月号

今月は2019年に節目を迎えるミステリー界の巨匠を紹介します。

生誕160年

アーサー・コナン・ドイル

(1859.5.22~1930.7.7)

スコットランド エディンバラ生まれ



「名探偵コナン」
の名前の由来

名探偵シャーロック・ホームズシリーズの生みの親。元々は医師を志しており、エディンバラ大学医学部を卒業後、診療所を開業するが患者は少なく生活は困窮していたといわれる。この頃に副業として小説の投稿を始める。ホームズシリーズ第一作の『緋色の研究』(1884)もこの時期に書かれた作品で、以後『四つの署名』(1890)や一連の短編ホームズシリーズを次々に発表し、小説家として絶大な人気を得ることになった。

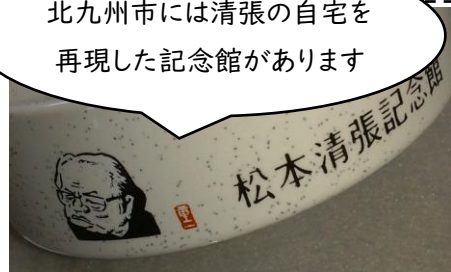
生誕110年

まつもと せいちょう
松本 清張

(1909.12.21~1992.8.4)

福岡県北九州市生まれ

北九州市には清張の自宅を
再現した記念館があります



様々な職を転々とした後、新聞社勤務中に書いた『西郷札』(1951)が直木賞候補になる。『或る「小倉日記」伝』(1952)で芥川賞受賞。

天才的な頭脳を持った探偵が荒唐無稽なトリックに挑戦するといったそれまでのミステリーとは対照的に、平凡な刑事が試行錯誤を繰り返し、巧妙なアリバイを崩していく……リアリティを感じさせる作風は社会派推理小説と呼ばれ、日本のミステリー小説界に大きな影響を及ぼした。代表作は時刻表トリックの傑作と言われる『点と線』や、実際の社会問題を織り交ぜた『砂の器』、『ゼロの焦点』など。



県立図書館の本を取り寄せできます



高校の図書室の本では物足らなくなった人、授業でちょっと専門的な本が必要になった人、県立図書館の本を利用してみませんか？ もちろん普通の小説や雑誌でも何でも構いません。県立図書館の蔵書数は約120万冊。必要な本がきっと見つかるはずです。取り寄せを希望する人は気軽に図書室に声をかけてください。

- ・ 読みたい本のタイトルまたはテーマ（「AI について」など）をお知らせください。
- ・ 貸出期間は14日間です。
- ・ 申し込みから到着まで4日～11日程度かかります。（通常、木曜日の昼休みまでに申し込めば翌週の月曜日には届きます）

今月の作家 オススメの1冊 <図書室で展示中>

『SHERLOCK（シャーロック）』

ホームズが現代に蘇った。スマホを駆使して犯人を追い詰める。BBC 制作ドラマ「シャーロック」のコミック化。セリフはすべて英語（日本語訳併記）なので英語学習にも。

『砂の器』

何度も映像化されている名作。原作にのみ登場する「音」を使った奇想天外なトリックとは？

新着図書紹介

<第160回芥川賞受賞>

『IRI分34秒』 町屋良平著

<2019年本屋大賞受賞>

『そして、バトンは渡された』
瀬尾まいこ著

<2019年本屋大賞候補作>

『火のないところに煙は』 芦沢央著
『熱帯』 森見登美彦著
『さざなみの夜』 木皿泉著

<第65回青少年読書感想文

全国コンクール課題図書>

『ヒマラヤに学校をつくる』
吉岡大祐著

<その他の新着>

『風に恋う』 額賀滂著
『54字の物語』 氏田雄介著
『IKIGAI』 茂木健一郎著

<岩波新書>

『がん免疫療法とは何か』 本庶佑著
『平成経済衰退の本質』 金子勝著
『二度読んだ本を三度読む』
柳広司著

<岩波ジュニア新書>

『「空気」を読んでも従わない』
鴻上尚史著
『内戦の地に生きる』 橋本昇著